



日本の自然保護 最前線 2016

2016年2月7日(日)

13:00 ~ 16:00

会場：日比谷コンベンションホール

参加費：無料

主催：公益財団法人 日本自然保護協会 協賛：経団連自然保護協議会
後援：環境省、国際自然保護連合日本委員会 (IUCN-J)、
国連生物多様性の10年日本委員会 (UNDB-J)、自然保護憲章普及協議会

12:30 開場

13:00 シンポジウム「日本の自然保護最前線 2016」

～ 日本自然保護大賞受賞者による、活動発表 ～

保護実践部門 ● 泡瀬干潟を守る連絡会 (沖縄県)

サンゴ礁、海草藻場に広がる貴重でユニークな干潟を守る運動

教育普及部門 ● 十日町市立里山科学館 越後松之山「森の学校」キョロロ (新潟県)

地域の生物多様性を活かした市民参加による地域づくり

地域の活力部門 ● 芸北せどやま再生会議 (広島県)

地域ぐるみの次世代型里山保全の仕組み「芸北せどやま再生事業」

東北復興貢献部門 ● 蒲生を守る会 (宮城県)

1970年から続く仙台市蒲生干潟の保全活動

企業・団体リーダー部門 ● 積水化学工業 (株) 滋賀栗東工場 (滋賀県)

工場の部材を有効活用した琵琶湖の生物多様性保全活動

子ども・学生部門 ● FAN フィールドアシスタントネットワーク (千葉県)

北海道・道東地域でのワークキャンプを通じた自然保護

沼田眞賞 ● ユウパニコザクラの会 (北海道)

夕張岳の大自然及び文化遺産を次世代に引き継ぐための保全活動

選考委員特別賞 ● 北限のジュゴン調査チーム・ザン (沖縄県)

絶滅危惧種のジュゴンを保護するための食み跡調査

● プレゼンター

亀山 章
吉田 正人
神谷 有二
中 静 透
石原 博
イルカ

日本自然保護大賞選考委員長、日本自然保護協会理事長、東京農工大学名誉教授
国際自然保護連合日本委員会 (IUCN-J) 会長、筑波大学大学院教授、日本自然保護協会専務理事
(株) 山と溪谷社 Yamakei Online 部部长 兼 新規事業開発室室長、日本山岳遺産基金渉外担当、日本自然保護協会理事
東北大学生命科学研究科教授、日本自然保護協会理事
三井住友信託銀行 (株) 業務部兼 経営企画部 CSR 推進室審議役、経団連自然保護協議会企画部会長、日本自然保護協会理事
IUCN 親善大使、シンガーソングライター、絵本作家



■ お申込先 資料準備のため下記の WEB フォーム、または
お電話・E-mail でお申し込みください。(当日参加可)

<https://goo.gl/Q4Xzph>

会場 ■ 日比谷コンベンションホール

千代田区日比谷公園 1-4 (千代田区立日比谷図書文化館内 大ホール)

- 東京メトロ丸の内線・日比谷線「霞ヶ関駅」B2 出口より徒歩約 3 分
- 都営地下鉄 三田線「内幸町駅」A7 出口より徒歩約 3 分
- 東京メトロ千代田線「霞ヶ関駅」C4 出口より徒歩約 3 分

公益財団法人 日本自然保護協会

TEL : 03-3553-4101 award@nacsj.or.jp

